

都市再生整備計画 事後評価シート

おおむらちゆうしんちく だい き
大村中心地区(第2期)

(都市再構築戦略事業(人口密度維持タイプ))

令和2年3月

ながさきけん おおむらし
長崎県大村市

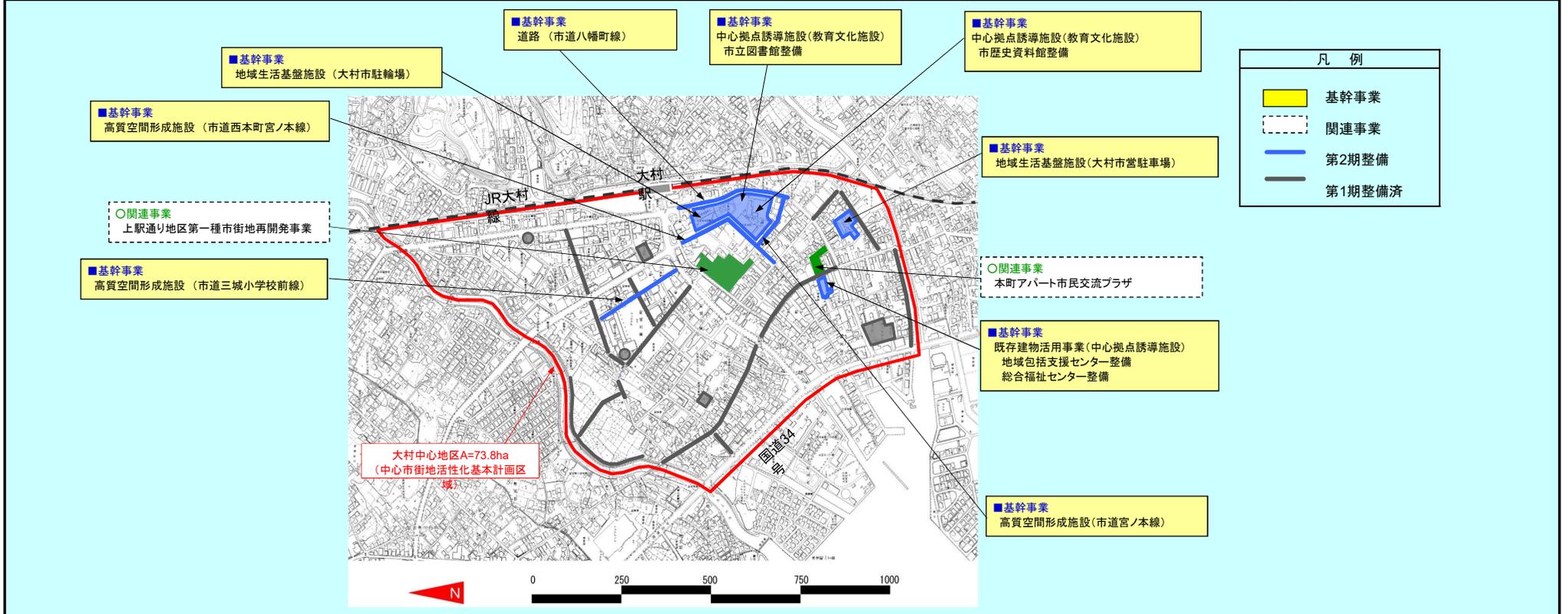
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長崎県		市町村名	大村市		地区名	大村中心地区(第2期)			面積	78.3ha	
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	令和元年度		交付対象事業費	4,348	国費率	0.5			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路(1路線)、高質空間形成施設(3路線)、地方都市リノベーション推進施設(市立図書館)								
			提案事業	なし								
	当初計画から削除した		基幹事業	なし		事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
			提案事業	なし								
	新たに追加した事業		基幹事業	地域生活基盤施設(駐輪場、駐車場) 中心拠点誘導施設(市歴史資料館) 既存建築物活用事業-中心拠点誘導施設(地域ケア包括センター、総合福祉センター)		本地区の中心拠点機能の充実強化を図る施設整備を追加			指標1及び指標2の目標を上方修正			
提案事業			なし									
交付期間の変更		当初	平成26年度～平成30年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
		変更										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	中心市街地の交流人口	人/日	6,280	H25年度	8,820	H30年度	未実施	7,771	△	あり ○ なし	中心市街地の魅力と回遊性の向上及び中心拠点誘導施設の再整備等による誘客推進により、中心市街地の交流人口が増えた。
指標2	図書館利用者数	人/年	153,890	H24年度	517,380	H30年度	未実施	600,600	○	あり なし	県・市の一体的な整備による図書館機能の強化及び市歴史資料館併設の相乗効果により図書館利用者数は増加した。	令和2年10月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				
	住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				

様式2-2 地区の概要

大村中心地区(長崎県大村市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値	
大目標: 県央に位置する大村市の中心市街地にふさわしい魅力と賑わいの都市の再生 目標1: 中心市街地の魅力と回遊性を高め、人々が集い交流し、賑わいあふれるまちをつくる。 目標2: 中心拠点誘導施設の再整備により、都市機能の充実を図り中心市街地への誘客を推進する。	中心市街地の交流人口	単位:人	6,280 H25年度	8,820 H30年度	7,771	R1年度
	図書館利用者	単位:人	153,890 H24年度	517,380 H30年度	600,600	R1年度



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館、市歴史資料館をはじめ福祉総合センター、地域包括支援センター等、集客性の高い都市機能の施設整備によって、大村中心地区の交流人口は増加した。 ・道路整備や駐輪場、駐車場の整備によって、来街者の安全・快適性が高まるとともに、アクセス利便性が向上し、回遊性のあるまちづくりが進んだ。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・集客力のある公共施設や商業施設等との連携による情報発信、イベント開催等により、市内外から訪れる来街者を誘導し、さらに交流人口を増加させる。 ・イベント開催の支援、空き店舗活用支援、低・未利用地活用の支援等を行い、商店街の活性化とまちの賑わいの再生を図る。 ・生活利便性の高い立地環境を活かし、土地の高度利用を図った民間住宅建設の支援や子育て支援施設等の整備による定住人口を増加させる。